

古文読解の決め手は主語判断!! 誰にでもわかる主語判断法とは

文法と単語の丸暗記だけでは、一部の問題にしか得点できません。文法や単語の力を読解に生かしましょう！中でも、正しい主語の判断ができるようになると、読解力は格段に上がります。さあ、主語判断の方法を伝授します！

POINT 1

書き手・話し手は、自分にとって当たり前ことは、いちいち書かないことが多い。

君が日記を書いているとします。友人からチョコをもらったことを書く時、「花子からチョコもらった」などと書くでしょうが、「私は」という主語は書きません。自分の日記で「私は」は当たり前だからです。女子が彼氏の態度が冷たいことを書く時は、「今日あいつ冷たかった」、「今日は冷たかった」などと書けばよく、いちいち「今日山田太郎君は…」とは書きません。その女子にとって、常に心に思う人は彼氏だけなので、書かなくてもわかるのです。親戚のおじさんが家に来たことを、「おじさんが来た」と書く時、「我が家に」は書きません。「家」は当たりの場所だからです。もし、おじさんが高校に来たら、「おじさんが学校に来た。びっくり。」などと場所を書かすにはいられないはずです。このように現代語で考えると当たり前のことが、古文でも頻繁に起きています。

和泉式部が、恋人である敦道親王との交際を書いた『和泉式部日記』に

はかなき世の中を、 a 嘆きつつ b 明かしくらすほどに、

十月十日のほどに c おはしたり。奥は暗くておそろしければ、
端近く d うち臥させ給ひて、あはれなることの限り e のたまは
するに、

とあります。傍線部の動詞の主語は書いてありませんが、さて、誰が主語でしょう。考えてみて下さい。

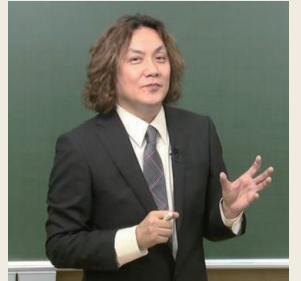


「書いてないからわからない」ではなく、「書いてないからこそ、主語は筆者自身か、筆者が日常的に身近に感じている人だ」と考えるべきです。正解は、a・b が和泉式部、c～e が敦道親王です。a・b は、書かれていないからこそ筆者自身だと考えてよいでしょう。ただ、c～e の「おはす・せ給ふ・のたまはす」はいずれも尊敬語で、筆者がこれらを自分の動作に使うとは考えられません。僕らだって、「今日、僕はラーメンを召し上がった」なんて言わないでしょ。つまり、c～e の主語は、筆者が名を書く必要を感じないが本人ではない人物（＝日常的に身近に感じる人）で、敬意を払う必要は感じる人物です。敦道親王の「親王」とは皇子の意ですから、恋人で、皇族である敦道親王ならば、c～e の主語にふさわしいのです。

また、「鈴木は卓球部の主将だよ。強いよ」と言う時、「強いよ」の主語はありませんが、誰だって鈴木が主語だとわかります。直前の文で主語である人物や話題となっている人物が、引き続き次の文でも主語や話題となる場合は、わざわざその人物名を言わなくてもすむのです。つまり、c の主語が敦道親王なら、直後の文の d・e の主語も同じく敦道親王である可能性が高いのです。

東進国語科 古文講師・伊東 潤先生

古文を堅苦しくなく、現代感覚で解説する。基礎に何度でも立ち返りながら進んでいくその指導方法は、圧倒的な支持を得る。何もわからないという最初の一步から完璧な基礎作り、そして難問解法まで本番で役立つ実力を養成する。落ち着いた口調に熱さを秘めた授業を展開する。



POINT 2

**有名作品中の人物関係は知っておこう。
または、前書きや注釈から人間関係を把握しよう。**

左の『和泉式部日記』の例では、主語を判断するのに、ポイント1だけではなく、筆者と敦道親王の関係という人間関係に関する作品上の常識や、敬語も役立てています。有名作品であれば、筆者の日常（当たり前）を知っておくべきですし、そうでないなら、前書きや注釈から人間関係に関する情報を求める努力をするべきです。たとえばこんなことを知っていますか。

『蜻蛉日記』の筆者である藤原道綱母は、日常的に、訪れの少ない夫藤原兼家との関係に悩んでいる。

『枕草子』の筆者である清少納言は、日常的に、中宮定子（一条天皇の正妻）の近くに仕えている。

作品に関するちょっとした知識が、主語判断のカギとなり、読解をスムーズにすることがあるのです。

POINT 3

**敬語の種類とその役割を学び、
主語判断の材料に使う。**

敬語の種類と役割は次の通りです。

尊敬語 動作主体を高める敬語。
謙譲語 動作主体を低めて、動作の受け手（相手）を高める敬語。
丁寧語 話の聞き手に対して表現を柔らかくする敬語。

つまり、尊敬語が使われている場合はその動作主体（＝主語）が、謙譲語が使われている場合はその動作の受け手が、筆者（話者）から見て敬意を払う人だということです。また、尊敬を表す語が二つ以上重なる二重尊敬（最高敬語）は、地の文では、神仏・皇族・摂政・関白など極めて崇高・高貴な主語にしか使いませんから、二重尊敬があれば主語はそれら高貴な人物であることになります。

裏面へ続く！➡

『枕草子』にある次の一節、大納言は誰のもとへ参上したのかわかりますか。考えてみて下さい。



大納言殿参り給ひて、文の事など奏し給ふに、

正解は天皇です。筆者清少納言は尊敬語「給ふ」によって動作主体大納言へ敬意を払うだけでなく、謙譲語「参る・奏す」によって動作の受け手へも敬意を払っています。そして、「奏す」は「天皇に申し上げる」と訳す謙譲語ですから、受け手は天皇なのです。敬語を根拠として、主語だけではなく、動作の受け手（相手）が誰であるかも判断できる場合があります。

POINT 4

助詞などを主語判断の根拠にしよう！

まず、「人物、」は、この人物が主語であることを示しています。「男、見る」は「男が、見る」と訳すべきであり、「男を、見る」と訳すことはあまりありません。

助詞が主語判断に役立つ時もあります。まず、次の接続助詞の前後は同主語であることがほとんどです。

て	連用形接続	【訳】～て
して	連用形接続	【訳】～て
で	未然形接続	【訳】～なくて・～ないで
つつ	連用形接続	【訳】～つつ

また、連用形の直後に読点がある部分の前後も同主語であることがほとんどです。

～連用形、……（例：男、馬に乗り、行きけり）

一方、次の接続助詞の前後は主語が変わる可能性が高いです。

確定条件を表す接続助詞「ば」＝已然形に接続している「ば」

【訳】(1)～(する)と・～(した)ところ
(2)～ので・～から

接続助詞の「に」「を」

＝連体形に接続していて(1)～(3)の訳し方が当てはまる「に」「を」

【訳】(1)～(する)と・～(した)ところ
(2)～ので・～から
(3)～のに・～(する)が・～けれども

要は、「～(する)と・～(した)ところ」、「～ので・～から」と訳す部分では主語が変わりやすく、「～のに・～(する)が・～けれども」といった逆接の訳が当てはまる部分でも主語が変わる可能性があるのです。

『枕草子』の次の一節の a・b の主語は誰でしょう。考えてみて下さい。



御前なる人々、一二人づつ失せて、御屏風几帳の後などに a 隠れ臥しぬれば、唯一人になりて、b 寝ぶたきを念じてさぶらふ

a は「御前なる人々」、b は筆者清少納言です。「御前なる人々」は直後に読点があるので主語となる部分ですが、述語は、まず「失せて」で、ここに接続助詞「て」があるので、a も同主語だということです。そして、a の最後は確定条件（「ぬれ」が助動詞「ぬ」の已然形）で、主語が変わりやすい部分ですが、「唯一人」からは主語が書かれておらず、尊敬語も使われていない（「さぶらふ」は謙譲語）ので、b の主語は筆者自身だろうと考えます。

力試し

以上の四つのポイントを駆使すれば、多くの場合に主語がわかり、びっくりするほど読解がスムーズになるはずです。

では、最後に、君の力を試してみましょう。

『枕草子』で、藤原隆家が姉の中宮定子に扇の骨をプレゼントしようとしている場面です。a～c の主語は誰でしょう。

「いかやうにかある」と a 問ひ聞こえさせ給へば、「すべていみじう侍る。さらにまだ見ぬ骨のさまなりと人々申す。まことにかばかりのは見えざりつ」と b 言高く申し給へば、「扇のにはあらでくらげのなんなり」と c 聞こゆ。

正解・解説はWeb で。

今すぐアクセス▶ **解説授業を東進ドットコムで限定公開中!**

Web限定・伊東先生の特別解説授業はこちら!

www.toshin.com

東進 検索

TOSHIN TIMES

発行 東進本部

発行人 永瀬昭幸

本部 〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-29-2

編集 株式会社ナガセ広報部

TEL:0422-44-9001

禁・無断転載

東進ハイスクール

0120-104-555

東進衛星予備校

0120-104-531

東進 検索

LINE 公式アカウント

東進公式 Twitter

東進公式 Facebook

185 大学の過去問も閲覧可!!

東進ドットコムはスマートフォン・PCからもアクセスできます!

ハッキリ言って合格実績が自慢です!! 大学受験なら、